

# お客さま向けオンラインセミナー

Withコロナ・Afterコロナの投資戦略  
テクノロジーだけではない！  
高成長が期待されるSDGs投資

この度はご参加いただきありがとうございます。  
当セミナーは18:00より開始致しますので開始まで今しばらくお待ち下さい。



# Withコロナ・Afterコロナの 投資戦略

テクノロジーだけではない！  
高成長が期待される  
**SDGs投資**

設定・運用は



ニッセイアセットマネジメント

NISSAY  
ASSET MANAGEMENT

商号等/ニッセイアセットマネジメント株式会社

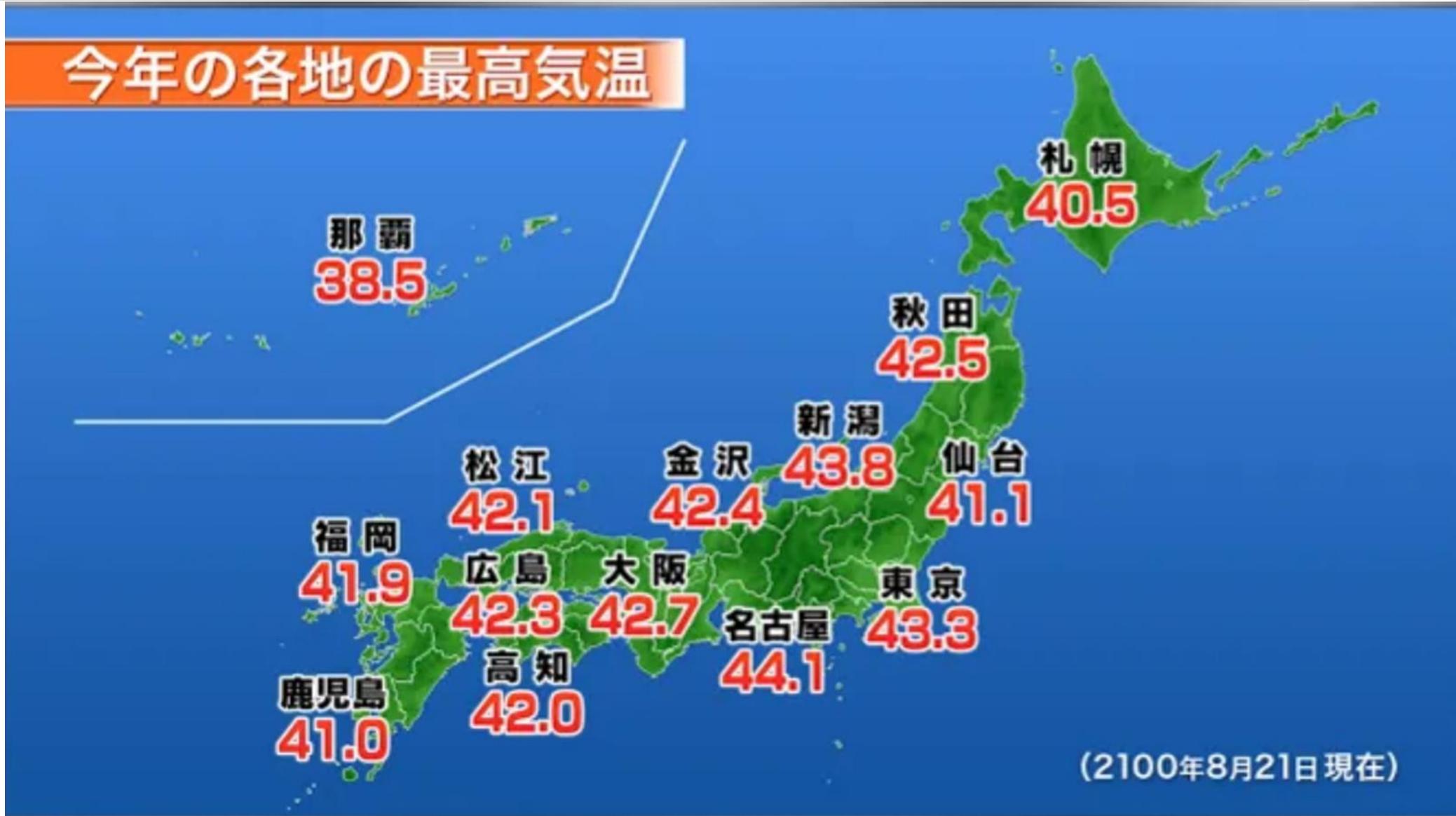
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第369号

加入協会/一般社団法人投資信託協会、

一般社団法人日本投資顧問業協会



# 2100年の新潟は40℃超え！？



出所) 環境省



1

金融市場の動向

2

注目の投資テーマ「SDGs」

3

SDGsと株式投資の関係



**1**

# 金融市場の動向

# IMF世界経済見通し (2021年4月時点)

	2020年 (前年比、%)	見通し (前年比、%)		前回 (2021年1月) との比較 (%)	
		2021年	2022年	2021年	2022年
世界	-3.3	6.0	4.4	0.5	0.2
先進国	-4.7	5.1	3.6	0.8	0.5
日本	-4.8	3.3	2.5	0.2	0.1
米国	-3.5	6.4	3.5	1.3	1.0
ユーロ圏	-6.6	4.4	3.8	0.2	0.2
ドイツ	-4.9	3.6	3.4	0.1	0.3
フランス	-8.2	5.8	4.2	0.3	0.1
イタリア	-8.9	4.2	3.6	1.2	0.0
スペイン	-11.0	6.4	4.7	0.5	0.0
英国	-9.9	5.3	5.1	0.8	0.1
カナダ	-5.4	5.0	4.7	1.4	0.6

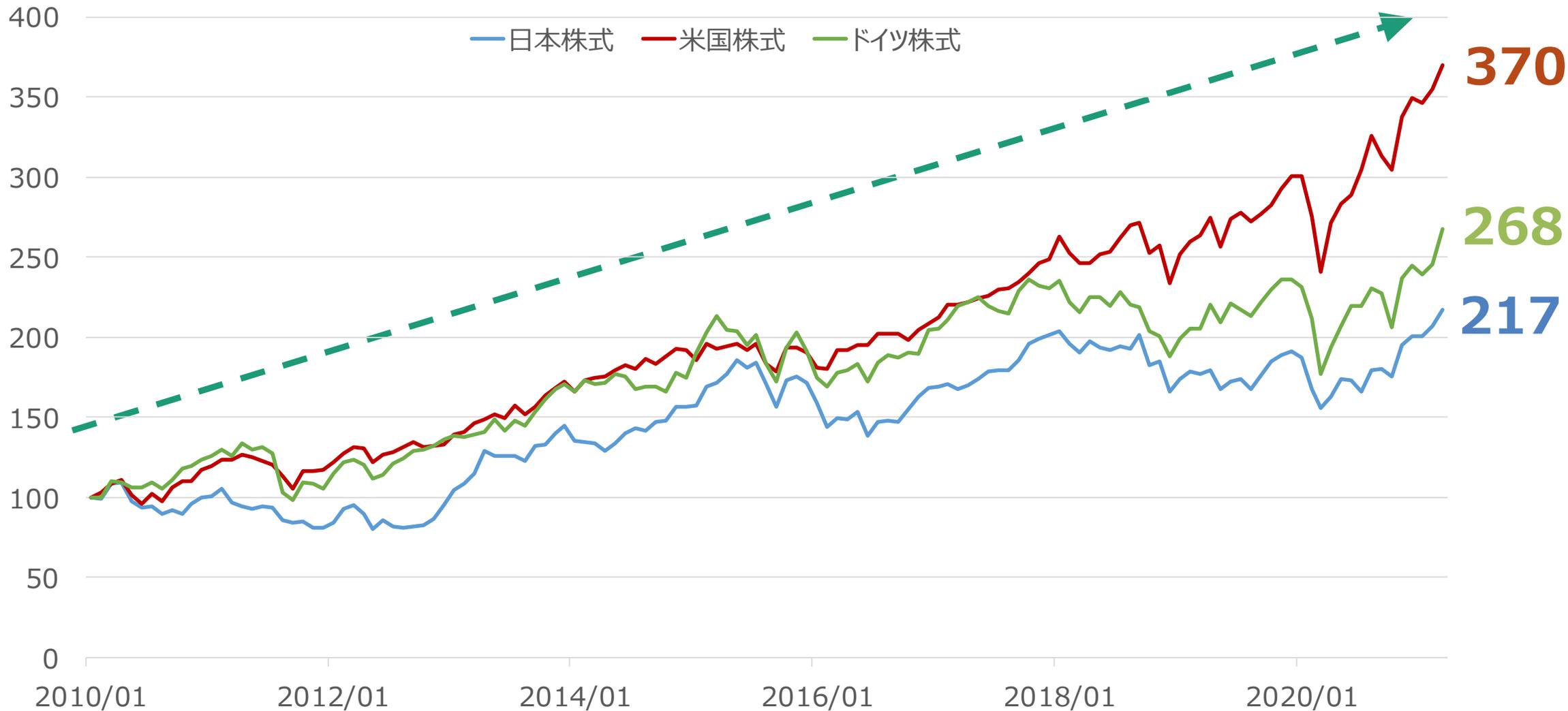
	2020年 (前年比、%)	見通し (前年比、%)		前回 (2021年1月) との比較 (%)	
		2021年	2022年	2021年	2022年
新興国	-2.2	6.7	5.0	0.4	0.0
中国	2.3	8.4	5.6	0.3	0.0
インド ※1	-8.0	12.5	6.9	1.0	0.1
ASEAN5 ※2	-3.4	4.9	6.1	-0.3	0.1
ブラジル	-4.1	3.7	2.6	0.1	0.0
ロシア	-3.1	3.8	3.8	0.8	-0.1
オーストラリア ※3	-2.4	4.5	2.8	1.5	—

(注) 各国・各地域の実質GDP成長率 (前年比)  
 ※1 インドは年度ベース (各年の4月～翌年3月)  
 ※2 インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム  
 ※3 オーストラリアは2020年10月時点見通しとの比較



# 株価の推移

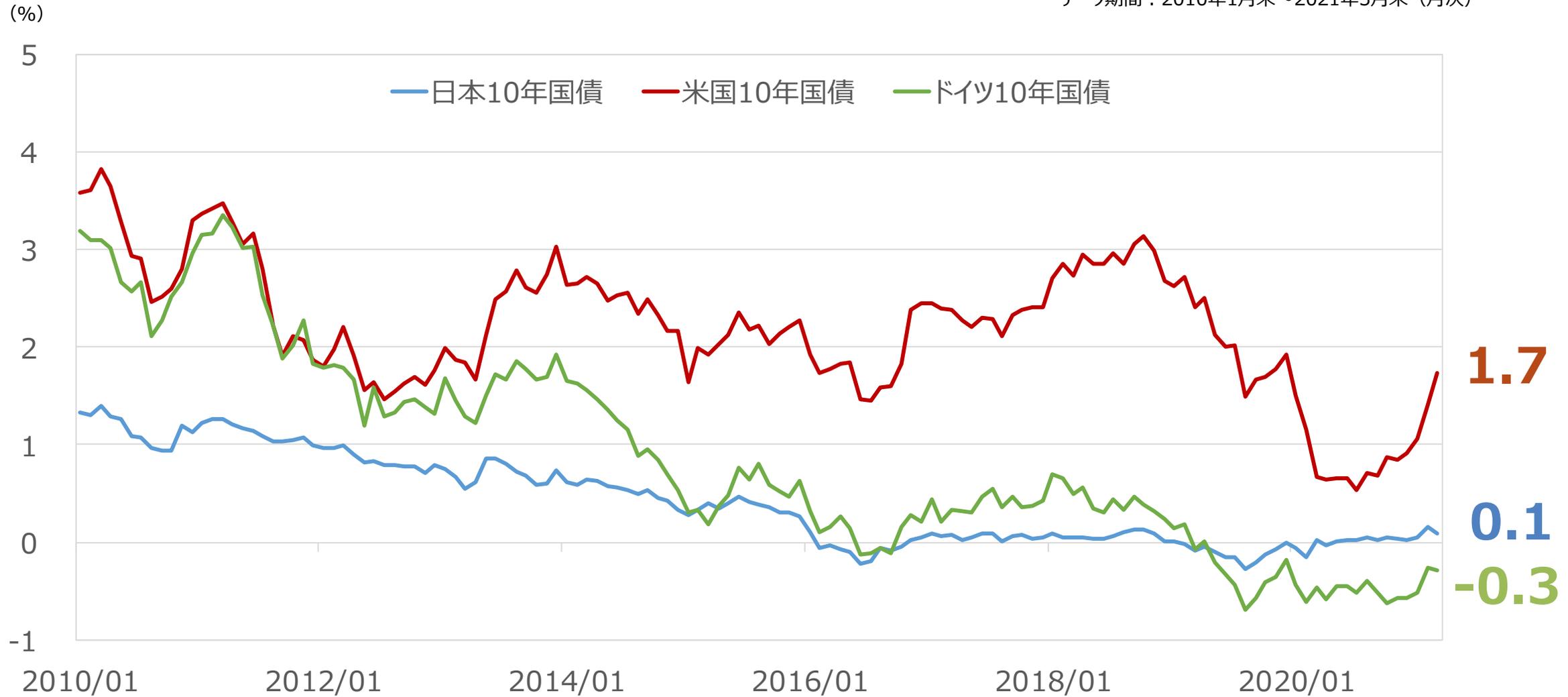
データ期間：2009年1月末～2021年3月末（月次）





# 金利の推移

データ期間：2010年1月末～2021年3月末（月次）



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成



2

## 注目の投資テーマ「SDGs」

# どこかで見かけたことはありませんか？

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

<p><b>1</b> 貧困をなくそう</p> 	<p><b>2</b> 飢餓をゼロに</p> 	<p><b>3</b> すべての人に健康と福祉を</p> 	<p><b>4</b> 質の高い教育をみんなに</p> 	<p><b>5</b> ジェンダー平等を実現しよう</p> 	<p><b>6</b> 安全な水とトイレを世界中に</p> 
<p><b>7</b> エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p> 	<p><b>8</b> 働きがいも経済成長も</p> 	<p><b>9</b> 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> 	<p><b>10</b> 人や国の不平等をなくそう</p> 	<p><b>11</b> 住み続けられるまちづくりを</p> 	<p><b>12</b> つくる責任 つかう責任</p> 
<p><b>13</b> 気候変動に具体的な対策を</p> 	<p><b>14</b> 海の豊かさを守ろう</p> 	<p><b>15</b> 陸の豊かさも守ろう</p> 	<p><b>16</b> 平和と公正をすべての人に</p> 	<p><b>17</b> パートナーシップで目標を達成しよう</p> 	

国連広報センター作成



# Sustainable

持続可能な

# Development

開発

# Goals

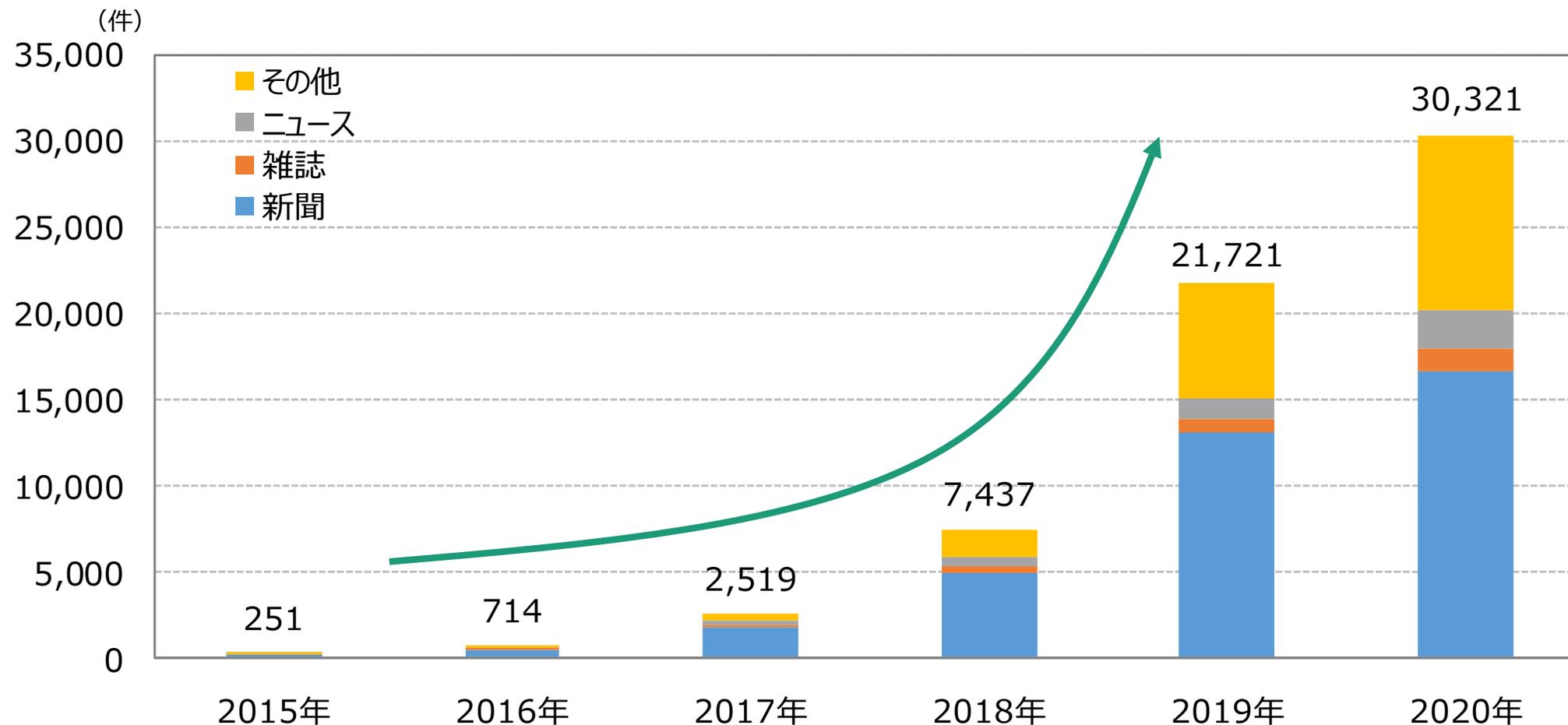
目標



# SDGsへの関心が年々高まっている



## 各種メディアのSDGs関連記事掲載数の推移



出所) 日経テレコンのデータをもとにニッセイASETマネジメント作成  
タイトル・本文に「SDGs」を含む記事の数



# バイデン大統領の政策とSDGsとのつながり



- トランプ前政権からバイデン新政権へ
- 環境政策を経済成長・外交政策の柱に

2050年までに米国の温室効果ガスの排出量をネットで**ゼロ**へ

気候変動対策などを含むインフラへ**2兆米ドル**を投資  
環境対策を通じた経済成長・イノベーションの推進



# コロナ禍を契機にイノベーションが加速

- 歴史を振り返ると、人類は古くからペストやコレラといった感染症に見舞われながらも、そのピンチをチャンスにすることでより豊かな社会を実現してきました。今回も**コロナ禍**を契機に、様々な分野でイノベーション(革新)が起こりつつあります。

<世界的な感染症拡大とそれを契機とした経済・社会の変化の例>

感染症	経済・社会の変化
ペスト <14世紀>	欧州で封建制度が崩れ産業革命のきっかけにも
コレラ <19世紀>	公衆衛生の考えが広がり下水道が普及しはじめた
スペイン風邪 <1918年~1919年>	第1次世界大戦の終結に影響
SARS(重症急性呼吸器症候群) <2002年~2003年>	世界の航空業界に打撃、再編の一因に
新型コロナウイルス <2019年~>	ソーシャルディスタンス(社会的距離)確保の一般化、非接触型技術の浸透、消費・サービスのオンライン化 等

出所：各種報道等をもとにニッセイアセットマネジメント作成



3

# SDGsと株式投資の関係



# SDGsは株価上昇に寄与する？

# 飛躍的に成長するSDGs関連市場

■ SDGsの達成に向け、2030年までに年間12兆米ドルの新たな市場が生まれると予測されています。

## 【SDGs 17の目標と関連市場の規模】



SDGs関連市場(年間)  
**12兆米ドル\***

ご参考

---

中国のGDP (2019年)  
14.2兆米ドル

アメリカの個人消費額 (2019年)  
14.5兆米ドル

国連広報センター作成

出所) 2017年1月「ビジネス&持続可能開発委員会報告書」、ブルームバーグ、米商務省のデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成  
 ※ダボス会議で発足した「ビジネス&持続可能開発委員会」が、SDGs達成に向け成長が期待される60の市場を特定し予測したもの



# 大きな投資機会になり得るSDGs関連市場

## SDGs達成により期待されるもの



年間12兆米ドル\*の市場  
+  
3億8千万人\*の雇用



投資機会

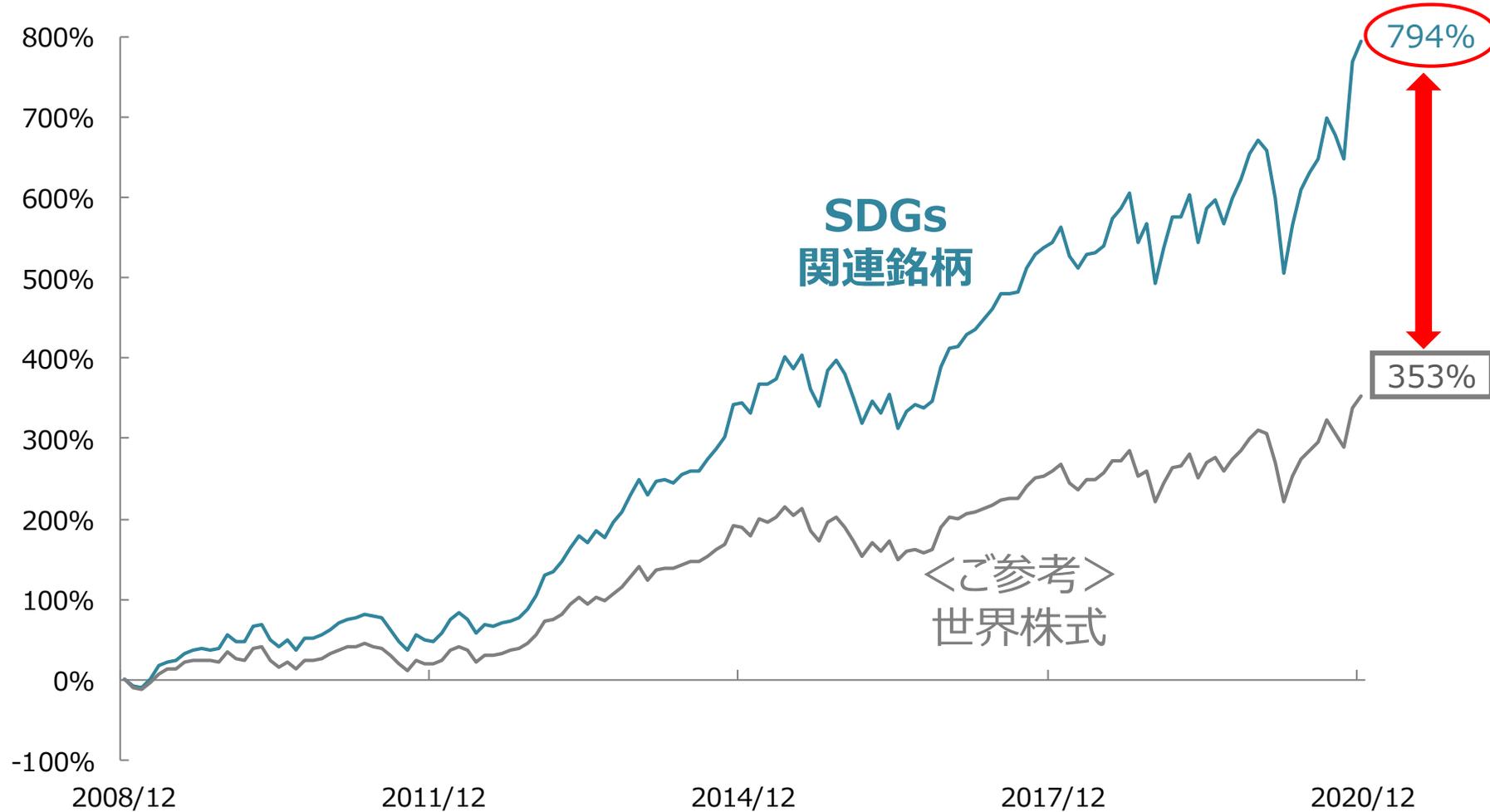
出所) 2017年1月「ビジネス&持続可能開発委員会報告書」をもとにニッセイアセットマネジメント作成  
※ダボス会議で発足した「ビジネス&持続可能開発委員会」が、SDGs達成に向け成長が期待される60の市場を特定し予測したもの



<ご参考>

# 相対的に良好なSDGs関連銘柄のパフォーマンス

<ご参考> 投資候補銘柄群の累積パフォーマンス(円ベース)



出所)ブルームバーグ等のデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成 データ期間：2008年12月末～2020年12月末(月次)

世界株式：MSCIワールドインデックス(配当込み、円ベース) SDGs関連銘柄：ニッセイアセットマネジメントが長期業績予測を行っている企業のうちSDGs達成に関連した製品・サービスを提供する銘柄(約400銘柄)を投資対象とし、外国株式90%・日本株式10%の割合で、それぞれ各銘柄に月次で均等ウェイトで投資したと仮定したシミュレーションです。手数料・税金等は考慮していません。

当ファンドのパフォーマンスではありませんので、あくまでご参考としてお考えください。



# SDGsへの取組みは社会をどう良くする？



# 2100年の天気予報！？





# 40°Cの新潟にさせないために…

**7** エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに



**13** 気候変動に  
具体的な対策を





# 再生可能エネルギーの発電コスト

## 欧州におけるエネルギー別発電コスト

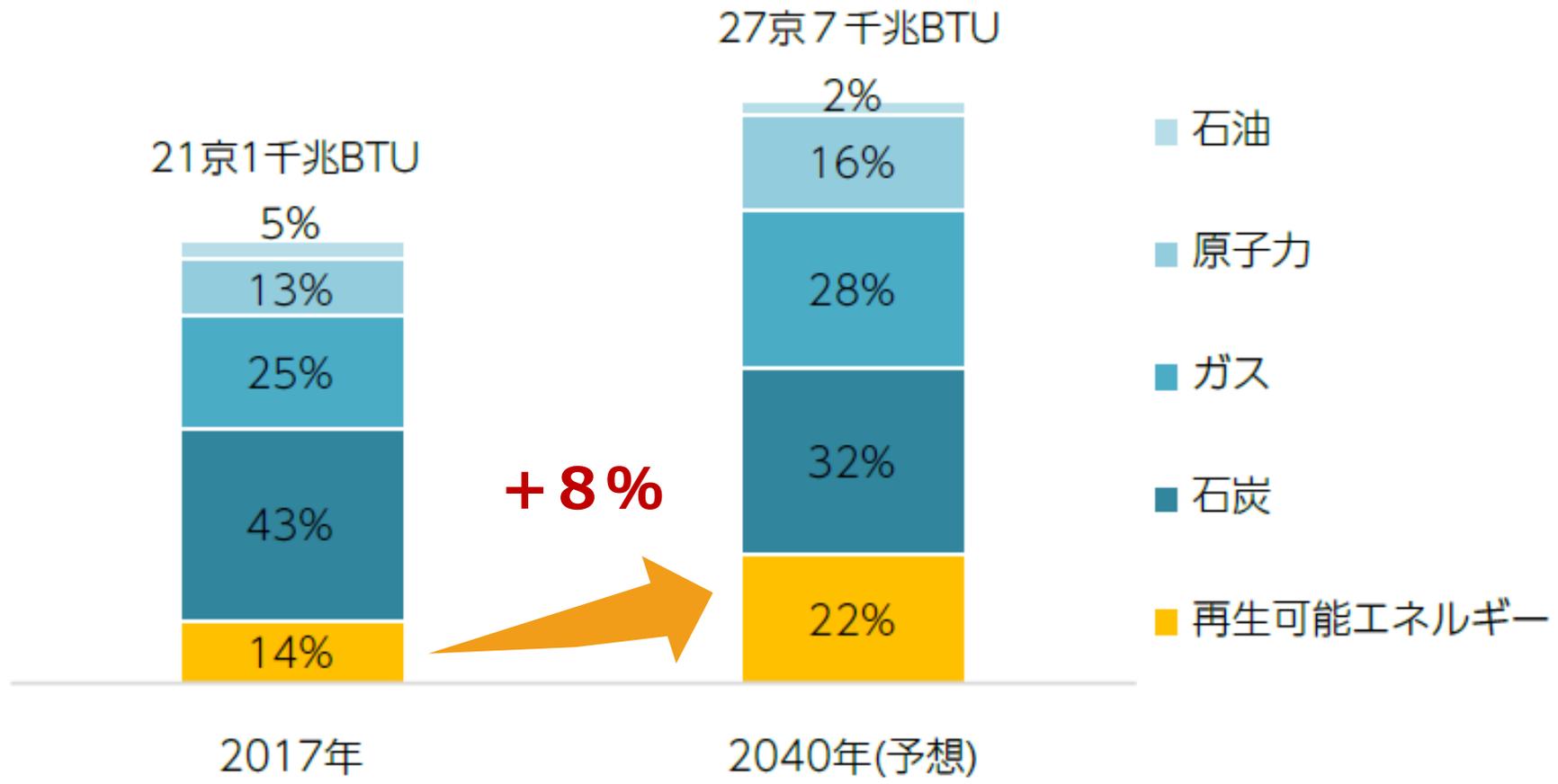
太陽光は、欧州の日当たりの良い地域では  
ガス発電並の競争力を有する



出所：Swedbank Research, 8/June/2020

# 再生可能エネルギーの普及が急がれる

世界の電力発電量と電源別構成比



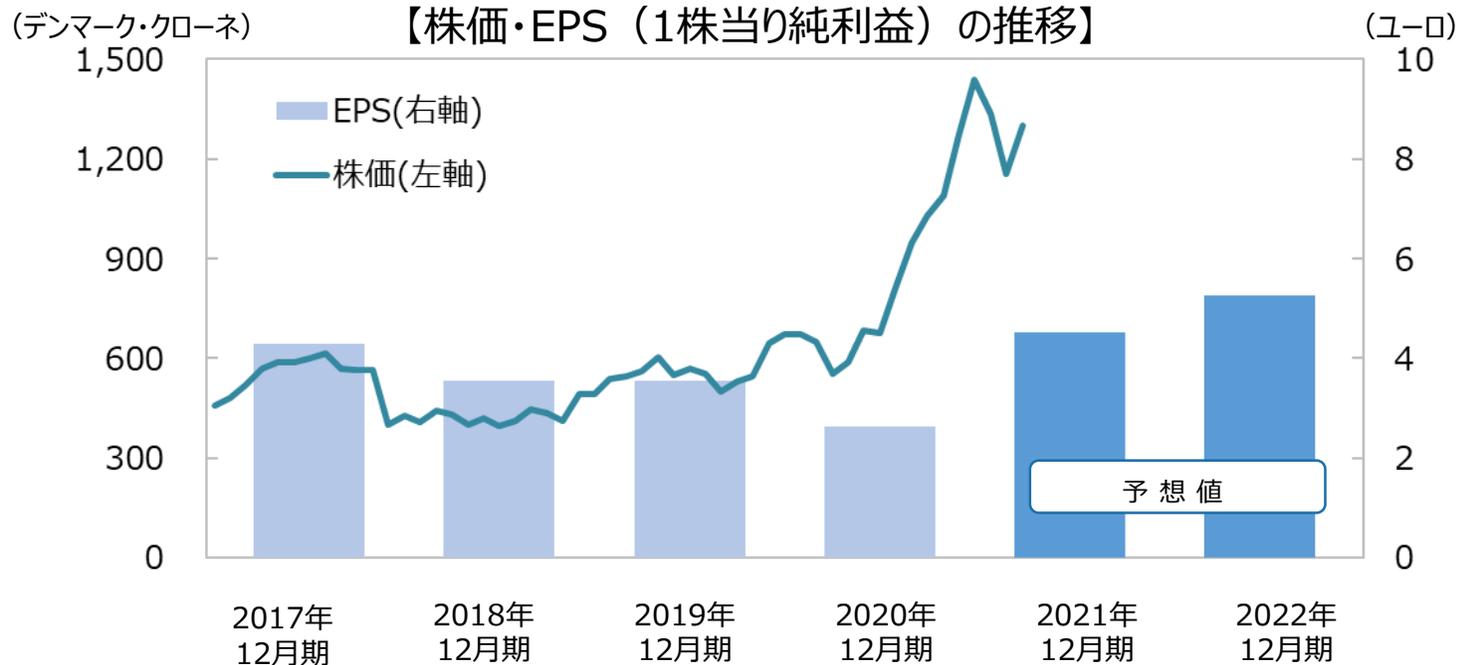
出所) エクソンモービルの資料をもとにニッセイアセットマネジメント作成 2040年は2019年時点の予想値  
 BTU : 熱量の単位 ( 1 BTU=0.293w)



# 関連銘柄のご紹介：ベスタス・ウィンド・システムズ

## ベスタス・ウィンド・システムズ（デンマーク）

- ✓ 風力発電用タービンやシステムを製造、販売する世界最大手企業。
- ✓ 世界80ヶ国以上で導入され、風力発電メーカーにおける市場シェアの約20%を占めています。
- ✓ 同社の風車運転・保守データは、世界中の気象データとあわせてスーパーコンピューターに蓄積されており、このビッグデータを風車の設計開発や機器テストのシミュレーション等に活用できることも強みです。



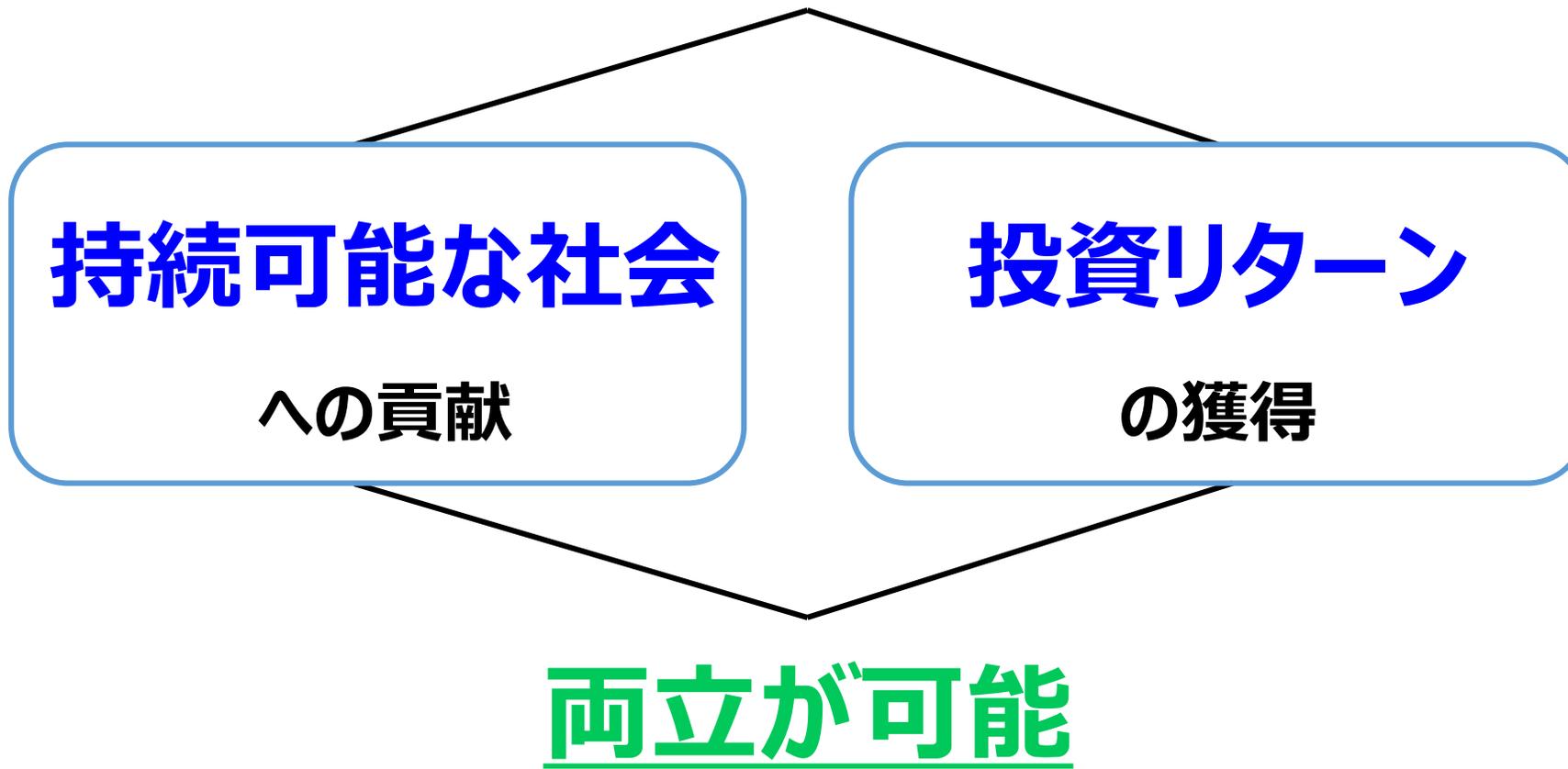
### 【関連するSDGs】



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成  
 株価は2016年12月末～2021年3月末(月次)、EPS予想値は2021年4月現在のブルームバーグ集計値  
 上記は特定の銘柄を推奨するものではなく、また、当該銘柄を組入れることを保証するものではありません。写真はイメージです。



## SDGs投資の意義と魅力



※上記はイメージ図です



# 今後考えられる相場トレンドの変化

## 今後考えられるシナリオ

ワクチン・治療薬の浸透

非対面から一部対面へ

経済成長率上昇  
長期金利上昇



## 想定される株式市場の反応

経済活動再開に伴う  
株価上昇

デジタル消費の鈍化と対面  
銘柄(消費関連等)の見直し

長期金利上昇が  
恩恵となる銘柄、  
足かせとなる銘柄



**株式市場は長期上昇トレンドが**

**想定されるものの、業種分散が必要**



# ニッセイSDGsグローバル セレクトファンドのご紹介



# 世界株式や日本株式と比較して相対的に良好な運用実績



## 設定来の運用実績

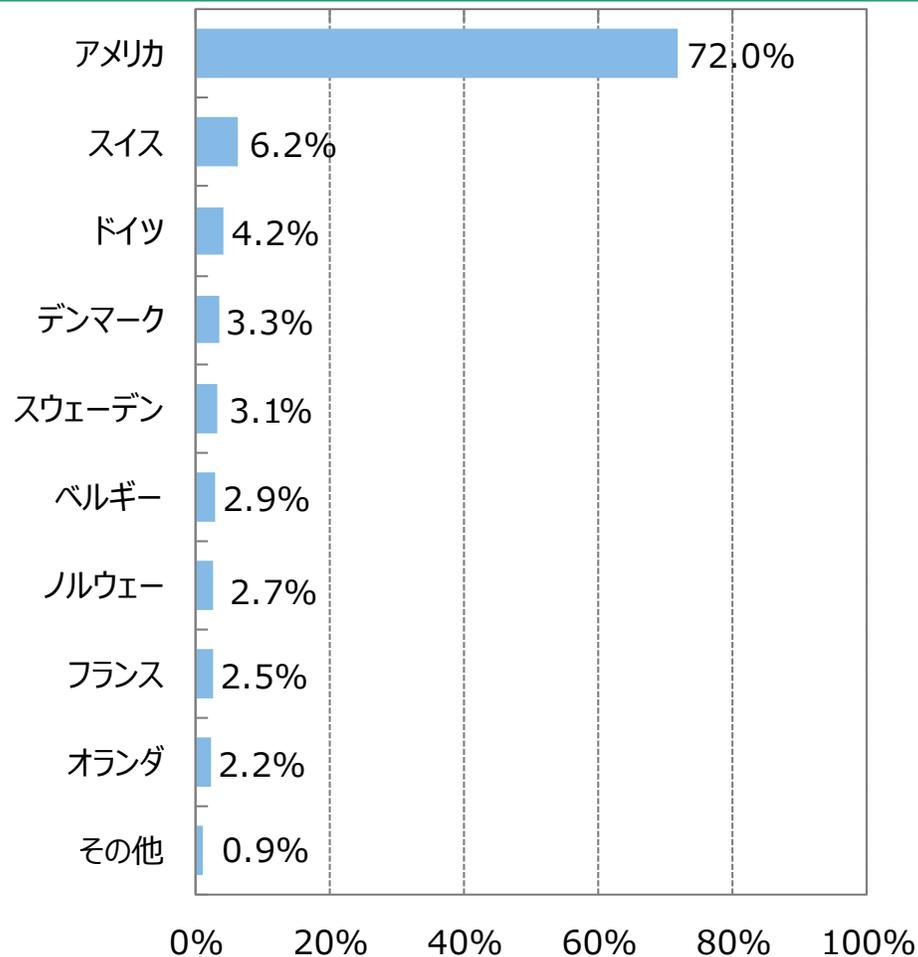


出所) ブルームバーグ、Factset等のデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成 データ期間：2018年5月28日(当ファンド設定日)～2021年3月31日(日次)  
 SDGsグローバル(為替ヘッジなし)：ニッセイSDGsグローバルセレクトファンド(資産成長型・為替ヘッジなし)、SDGsグローバル(為替ヘッジあり)：ニッセイSDGsグローバルセレクトファンド(資産成長型・為替ヘッジあり)、両ファンドともに税引前分配金再投資基準価額 世界株式：MSCIワールドインデックス(配当込み、円ベース) 日本株式：TOPIX(配当込み) 当ファンド設定日の前営業日を10,000として指数化。上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

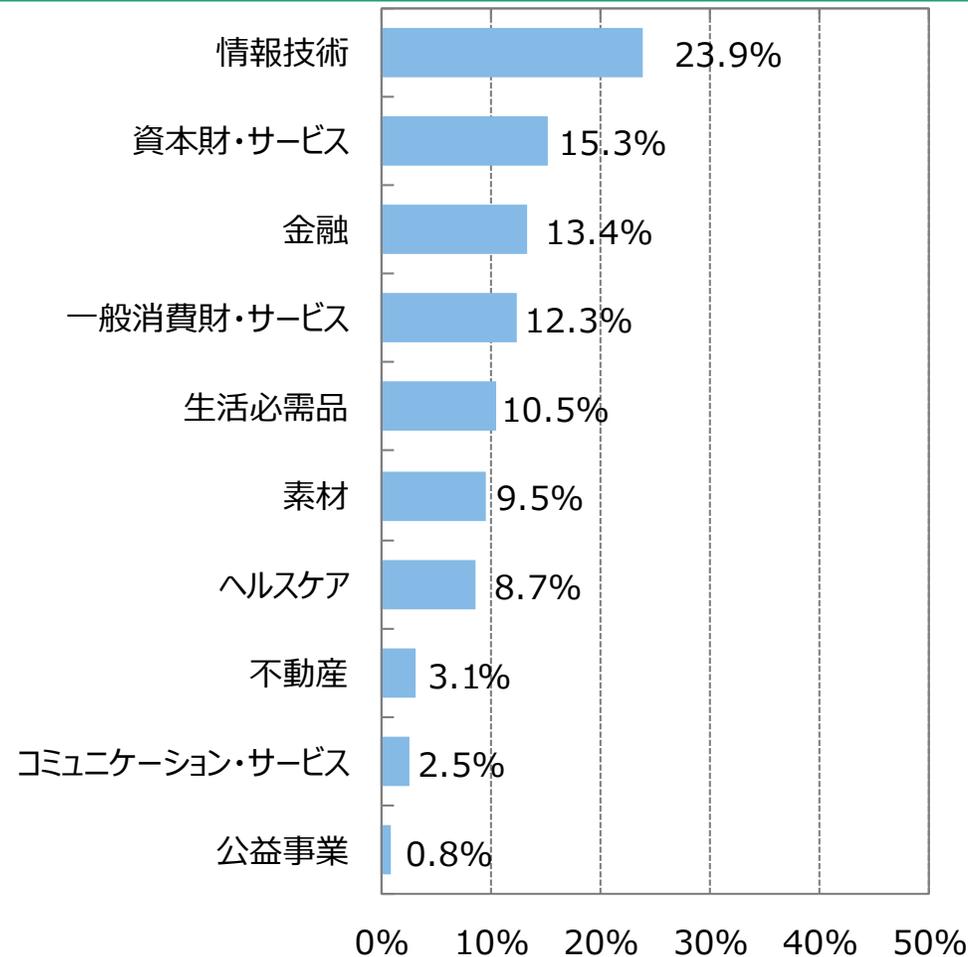


# マザーファンドの状況 (2021年3月末現在)

国・地域別組入比率



業種別組入比率



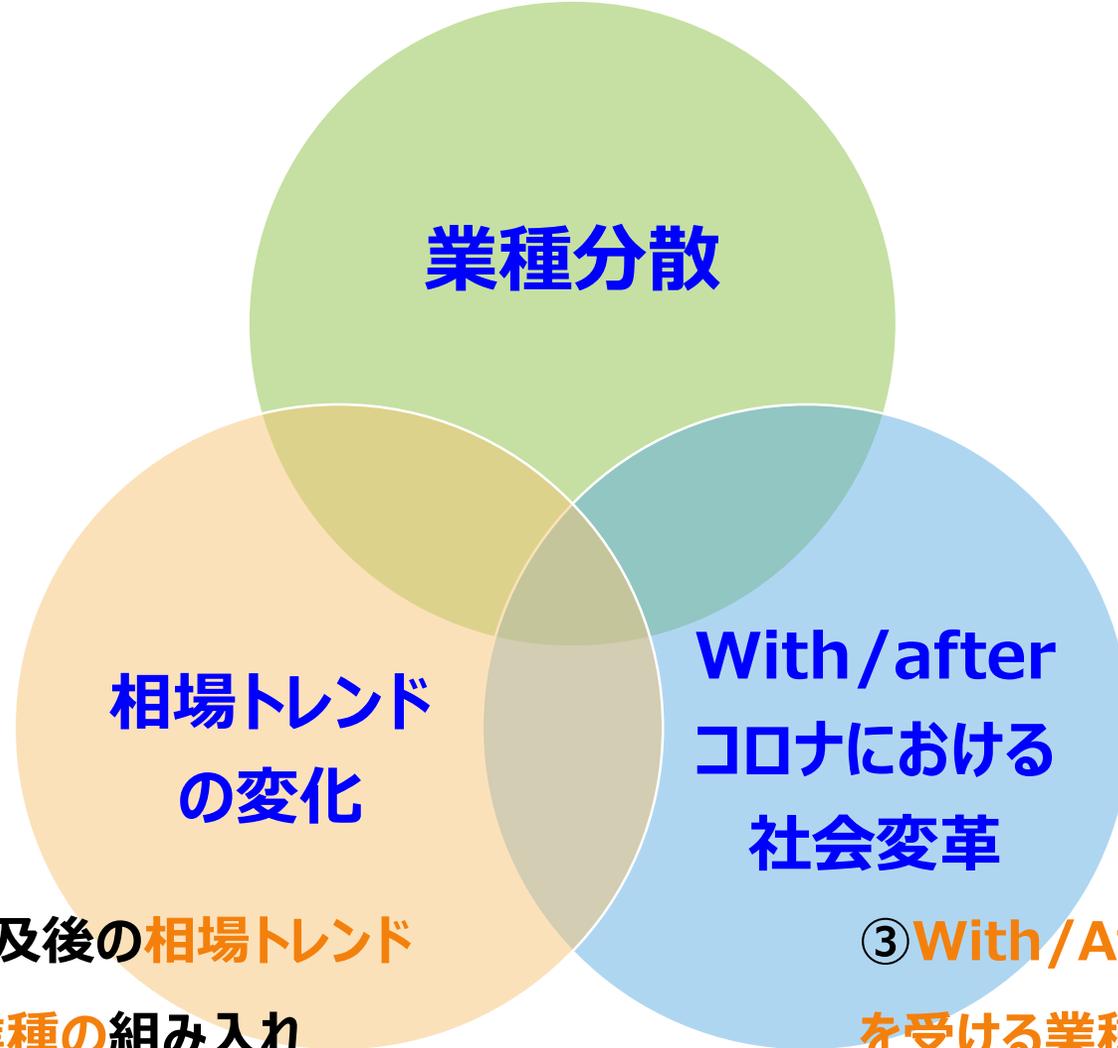
対組入株式等評価額比

国・地域はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。業種はGICS分類（セクター）によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。



# 組入業種のポイント

## ① 組入業種の分散



② ワクチン普及後の相場トレンド  
変化に沿う業種の組み入れ

③ With/Afterコロナで恩恵  
を受ける業種の組み入れ

※上記はイメージ図です



## よくあるご質問①



株価は高すぎるんじゃない？  
なんで今なの？



**SDGs**はバイデン政権の誕生でまさに  
これから成長の加速が期待されるテーマ





## よくあるご質問②



ハイテク関連ファンドを保有しているが、  
いつか急落しそうだと不安



**業種分散が有効な可能性**

**今後はSDGsを舞台にイノベーションが進展**





1

金融市場の動向

2

注目の投資テーマ「SDGs」

3

SDGsと株式投資の関係



# 投資リスク

## 基準価額の変動要因

- ファンド(マザーファンドを含みます)は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本を割込むことがあります。
- ファンドは、預貯金とは異なり、投資元本および利回りの保証はありません。運用成果(損益)はすべて投資者の皆様のものとなりますので、ファンドのリスクを十分にご認識ください。

## 主な変動要因

株式投資リスク	株式は国内および国際的な景気、経済、社会情勢の変化等の影響を受け、また業績悪化(倒産に至る場合も含む)等により、価格が下落することがあります。
為替変動リスク	<p>〈為替ヘッジあり〉外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替ヘッジを完全に行うことができるとは限らないため、外貨の為替変動の影響を受ける場合があります。また、円の金利が為替ヘッジを行う当該外貨の金利より低い場合などには、ヘッジコストが発生することがあります。</p> <p>〈為替ヘッジなし〉外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行わないため、為替変動の影響を直接的に受けます。一般に円高局面ではファンドの資産価値が減少します。</p>
カントリーリスク	外国の資産に投資するため、各国の政治・経済情勢、外国為替規制、資本規制等による影響を受け、ファンドの資産価値が減少する可能性があります。
流動性リスク	市場規模が小さいまたは取引量が少ない場合、市場実勢から予期される時期または価格で取引が行えず、損失を被る可能性があります。

・基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。



# ファンドの費用



## 投資者が直接的に負担する費用

購入時	購入時手数料 (1万口当り)	購入申込受付日の翌営業日の基準価額に <b>3.3%(税抜3.0%)</b> を上限として販売会社が独自に定める率をかけた額とします。
換金時	信託財産留保額	ありません。

## 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

毎日	運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に <b>年率1.584%(税抜1.44%)</b> をかけた額とし、ファンドからご負担いただきます。
	監査費用	ファンドの純資産総額に年率0.011% (税抜0.01%) をかけた額を上限とし、ファンドからご負担いただきます。
随時	その他の費用・ 手数料	組入有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用および借入金の利息等はファンドからご負担いただきます。これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を記載することはできません。

■ 当該費用の合計額、その上限額および計算方法は、運用状況および受益者の保有期間等により異なるため、事前に記載することはできません。

■ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。



# ご留意いただきたい事項

- 投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動し、運用成果(損益)はすべて投資者の皆様のもとなります。投資元本および利回りが保証された商品ではありません。
- 当資料はニッセイアセットマネジメントが作成したものです。ご購入に際しては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等(目論見書補完書面を含む)の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。
- 当資料で使用している数値等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績を示したものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。
- 当資料の内容は信頼できると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性・完全性につき弊社が保証するものではありません。ここに示された見解などは資料作成時点のものであり、将来変更されることがあります。
- 投資信託は保険契約や金融機関の預金ではなく、保険契約者保護機構、預金保険の対象とはなりません。証券会社以外の金融機関で購入された投資信託は、投資者保護基金の支払対象にはなりません。
- 当セミナーでニッセイアセットマネジメントが投資信託商品の説明を行う場合、その説明は、金融商品取引法における「第二種金融商品取引業」の勧誘として行うものです。尚、お客様個別のご事情に適した情報の提供や具体的なご提案、販売や申し込みの手続きは販売会社が行います。投資を行う際は販売会社より十分な商品説明を受け、最終決定はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの信託財産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。受益者のファンドの購入価額によっては、支払われる分配金の一部または全部が実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。